だいふくプラン2018

大分県社協第四次中長期活動計画

※「だいふくプラン」とは、大分県民が大きな福(しあわせ)を実感しながら地域で生活するための計画とするため、名づけたものです。

社会福祉法人　大分県社会福祉協議会

はじめに

近年における家族形態の変容や地域での支え合い意識の低下など、「無縁社会」が進行する中、孤立死や引きこもりなどの社会的孤立や子どもの貧困、増え続ける認知症高齢者等と介護の問題、虐待などの権利擁護の問題など、福祉を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いています。

さらに、近年、東日本大震災、熊本地震、九州北部豪雨災害など、自然災害が頻発しており、地域における防災・減災の取り組みの強化とともに、災害時に配慮を要する方々への支援体制の確立が急務となっています。

このような、これまでの制度や仕組みでは対応が難しい地域課題に応えるため、本会では様々な事業に取り組んでおり、その一つとして、平成28年６月に「フードバンクおおいた」を立ち上げ、個人や企業の皆様からご提供いただいた多くの食品を、県内に広がっている子ども食堂などにお届けすることにより、生活困窮者や子ども、ひとり親世帯の「食」を支援してまいりました。こうした取り組みは、私ども社会福祉協議会の「創業の志」を具現化した試みの一つであると考えています。

本会では、大分県社協第三次中長期活動計画「だいふくプラン2013」を継承しつつ、今後５年間に取り組む重点事業の指針として、大分県社協第四次中長期活動計画「だいふくプラン2018」を策定しました。この計画では、「強い絆で結ばれた地域社会の実現」を基本理念に、地域共生社会の実現、社会的孤立の解消の促進、災害に強い地域づくりなど７つの重点テーマを掲げて、取り組むこととしています。

大分県社会福祉協議会としましては、今後とも、県や市町村、市町村社会福祉協議会をはじめとする関係機関と密接に連携・協働し、誰もが安心・安全で尊厳のある自立した暮らしを実現できるよう、ともに支え合う仕組みづくりの構築に取り組んでまいります。

５年後、この計画名である「だいふく（大福）」のとおり、地域に暮らす方々がより大きく幸福を実感できるよう、多くの関係者の皆様方の忌憚のないご意見を糧とし、計画をさらなる実効性のあるものに高め、実行すべく、不断の努力を続けてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました関係者の皆様に、心からお礼申し上げます。

平成30年３月

社会福祉法人大分県社会福祉協議会

会　長　**髙　橋　　勉**

目 次

はじめに

第１章　計画策定の背景と動向

1　社会福祉協議会とは……3
2　地域福祉を取り巻く状況……4
3　市町村社会福祉協議会の取り組み状況……6

第２章　大分県社会福祉協議会が目指す姿

1　大分県社会福祉協議会が目指す姿……11

第３章　計画の概要

1　「だいふくプラン2018」の概要……19
2　「だいふくプラン2018」と各計画との基本関連図……20

第４章　計画の内容

1　計画の趣旨……23
2　計画の性格・役割……23
3　計画の期間と進行管理……23
4　基本理念と重点テーマ……24
5　計画の全体像……25
6　重点テーマ別の取り組み項目及び目標指標、目標値……26
　重点テーマ１　地域共生社会の実現……26
　重点テーマ２　社会的孤立の解消の促進……28
　重点テーマ３　権利擁護システムの早期確立……29
　重点テーマ４　災害に強い地域づくり……30
　重点テーマ５　新しい福祉の担い手づくり……31
　重点テーマ６　情報発信体制の強化……33
　重点テーマ７　法人の基盤強化……34

資料編

「だいふくプラン2013」の成果と課題……37
「だいふくプラン2013」評価・分析結果一覧……40
大分県における新しい時代に対応した福祉の提供ビジョンの概要……46
平成29年度大分県社会福祉協議会実施事業一覧……48
大分県社協第四次中長期活動計画策定委員会設置要綱……49
大分県社協第四次中長期活動計画策定委員会委員名簿・策定スケジュール……50

社会福祉法人　大分県社会福祉協議会